課題研究計画書の作成

|  |
| --- |
| 昨年度のSS課題探究Ⅰでは、自分たちの「研究テーマ」「リサーチクエスチョン」「仮説」について検討し、ポスターにまとめて発表を行った。また、そのポスターや発表に対する評価や意見を踏まえて、実証方法について検討した。  SS課題探究Ⅱでは、実証（実験や調査）を何度も行うことで、リサーチクエスチョンを解明していく。本時は「課題研究計画書」を作成して、研究全体の計画を立てよう。  また、今年度より担当教員が変更になる班もあるだろう。自分たちがどのような研究を行う予定なのか、改めてポスターを用いて発表を行い、担当教員から助言を仰ごう。 |

■課題研究計画書の作成

研究を行うには本来は長い期間が必要であるが、SS課題探究Ⅱでは短期間で研究をまとめるため、特に計画的に取り組む必要がある。まずは「課題研究計画書」において、全体の見通しを立てよう。記載する内容は次のとおり。

＜研究の概要＞

今まで取り組んできた内容をまとめる。「研究目的」は、この研究の成果がどういった点で社会に貢献するか、何の役に立つかを簡潔に書く。

＜実証方法の概要＞

仮説を実証するために、どのような実験や調査を行うか、その結果どのようなことが分かるのか、をできるだけ具体的に書く。

＜訪問予定先＞

自分たちの研究に関係する大学や企業の連絡先をまとめる。実際にメールや電話で連絡を取り、相手の研究の内容や自分たちの研究への助言を聞く。できれば訪問やオンラインで相手と会話できると望ましい。相手の研究室や施設の見学や実験器具の使用を認めてくれる場合もある。

＜研究計画＞

２回の中間発表会を経て、１月に課題研究発表会を実施する予定である。その時期までに実験や調査を実施して成果をまとめる必要がある。また、研究の内容によっては環境や季節の制限があるかもしれない。いつまでに何をすべきなのか、先を見通した計画を書く。

■指導教員へのポスター発表

１グループおよそ５分（質疑を含む）で、以下の内容を担当教員に伝えよう。

|  |
| --- |
| ・研究テーマ ・テーマを決めた背景 ・調べた情報  ・リサーチクエスチョン ・仮説 ・今後の方針や課題  ・計画している実証方法（具体的であるほど良い）  ・訪問等を予定している大学や企業、そこでお願いしようとしていること |

■今後の予定

次回（■月■日）から実証を始めていく。詳細は次回説明するが、実証をするには「実験計画書」をまとめて担当教員に説明し、主旨を認められなければならない。どのように実証するのか、次回までに具体的に考えておくこと。